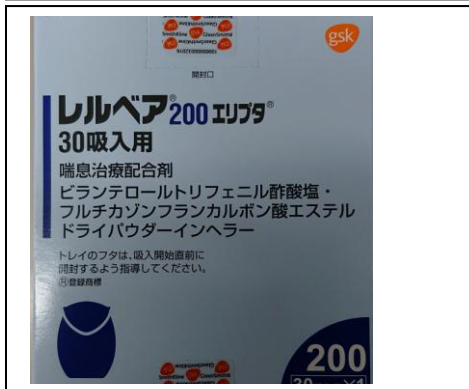


<今月のトピック 1 ; 喘息・COPD 治療吸入薬の新規採用について>

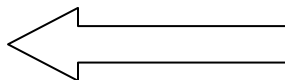
長時間作用型ステロイド・β2 刺激吸入配合剤として『レルベア』が追加

レルベア 100 エリプタ
200 エリプタ
30 吸入用(30 日分)

アドエア 250 ディスカス
500 ディスカス
60 吸入用(30 日分)



新規での処方は『レルベア』
を推奨していきます。



薬名	レルベア	アドエア
成分	ビランテロールトリフェニル酢酸塩 フルチカゾンフランカルボン酸エステル	サルメテロールキシナホ酸塩 フルチカゾンプロピオン酸エステル
吸入回数	1日1回	1日2回
薬価 (30日分)	100 ; 5987.2円 (1221.2円安い)	250 ; 7208.4円
	200 ; 6692.6円 (1520.6円安い)	500 ; 8213.2円
吸入操作	1 工程 (フタの開閉のみ) と簡便 開閉にやや力が必要 残数表示が大きく分かりやすい	2 工程 (フタを開閉しレバーを引く) 力を入れずに開閉出来る

<レルベア使用上の注意>

- ・吸入後はうがいをしてください。うがいが困難な場合は食事の前や歯磨き前に吸入してください。
- ・添加物である乳糖が乳蛋白を含むため、牛乳アレルギー患者は禁忌となっています。
- ・アルミトレイ（外袋）開封後の使用期限は6週間となっています。
- ・吸うときに浅くくわえると、口角から空気が漏れ出ます。口をすぼめて口を当ててください。

当院のドライパウダー型・長時間作用型ステロイド・β2刺激吸入配合剤は以下の2剤となります

- ① レルベアエリプタ(適応 ; 200 は喘息のみ。100 は喘息、COPD に適応あり)
- ② シムビコートタービューヘイラー(適応 ; 喘息、COPD。SMART 療法が可能)

—今月号の目次—

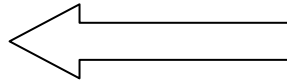
- ①<今月のトピック 1 >喘息・COPD 治療吸入薬の新規採用について 『レルベア』『アノーロ』が追加採用・P1・P2
- ②<DI 情報>アリーゼS 配合錠からオーネスST 配合錠への変更に伴う注意点・・・・・・・・・・P2
- ③<DI 情報>透析領域でボンビバ静注 1mg シリンジを試用開始、プレアボイド報告・・・・・・・・・・P3
- ④<DI 情報>副作用報告、採用薬変更のお知らせ)・・・・・・・・・・P4

長時間作用型抗コリン・β2刺激吸入配合剤として『アノーロ』が追加

アノーロエリプタ
30 吸入用(30 日分)



ウルティブロの試用
を取り下げ、アノーロ
を新規採用とします。



【試用】ウルティブロ吸入用カプセル
7カプセル/枚(7日分)



薬名	アノーロ	ウルティブロ
成分	ウメクリジニウム臭化物 ビランテロールトリフェニル酢酸塩	グリコピロニウム臭化物 インダカテロールマレイン酸塩
吸入回数	1日1回	1日1回
薬価 (30日分)	8324.2円(269.2円高い)	8055円
操作	1工程のみ(フタの開閉)で簡便 開閉にやや力が必要 残数表示が大きく分かりやすい	1回毎にカプセルを専用容器にセットし吸入操作する必要あり

DI 情報

<一般名表記にご注意ください！>

採用薬がアリーゼ S 配合錠からオーネス ST 配合錠に変更になりました。

アリーゼ S 配合錠

<成分> バイオヂアスターゼ 1000 22.5mg、
リパーゼ AP6 15mg、プロザイム 6 5mg 膵臓性消化酵素 8AP 22.5mg

バイオヂアスターゼ 1000 は成分の総量で
はなく名称です

処方箋の表記【一般名】バイオヂアスターゼ等 1000 消化酵素配合錠

オーネス ST 配合錠

<成分> バイオヂアスターゼ等 2000 15mg、
セルラーゼ AP3 5mg、ニューラーゼ 10mg
プロザイム 6 4mg、膵臓性消化酵素 TA 50mg

用量が倍になったのではなく、バイオヂア
スターゼ 2000 という名称の薬剤を用い
ています。実際の含有量は異なります。

処方箋の表記【一般名】バイオヂアスターゼ等 2000 消化酵素配合錠

バイオヂアスターゼ以外にも含有する成分がありますが「等」で省略されています。

消化異常の改善効果は1錠あたり同等です。切り替え時は同量変更となりますのでご注意ください。

DI 情報

<透析領域でボンビバ静注 1mg シリンジ(中外製薬)を試用開始>

現在、骨粗鬆症の治療に注射薬としてボナロン点滴静注バッグ 900 μ g が試用となっていますが、透析科では投与する水分量を極力減らすこと、点滴時間短縮を目的にボンビバ静注 1mg シリンジを試用開始しました。

骨密度の上昇、新規骨折の有無、有害事象を評価した上で、今後ボンビバ静注 1mg シリンジとボナロン点滴静注バッグ 900 μ g を採用化の検討を行う予定です。

製品名 (一般名)	ボナロン点滴静注バッグ 900 μ g (アレンドロン酸ナトリウム水和物)	ボンビバ静注 1mg/1ml シリンジ (イバンドロン酸ナトリウム水和物)
投与間隔	4週に1回 30分以上かけて点滴	月1回 緩徐に静注
薬価	4,627円 (1年13回投与で60,151円)	5,059円 (1年12回投与で60,708円)
特徴	100mlを30分かけて点滴静注	できるだけ緩徐に1mlをゆっくり静注
ガイドライン上の位置付け	骨密度、錐体骨折、 非椎体骨折、大腿骨近位部骨折 ;すべてA	骨密度、錐体骨折; A 非椎体骨折; B 大腿骨近位部骨折; C
ガイドライン上でのコメント	腰痛による臥床期間や活動制限日数の減少、関節痛と疼痛関連 QOL の改善期間がある。 A-TOP 研究会の JOINT-02 では、重症骨粗鬆症例に対してアレンドロネートに活性型ビタミン D3 薬を併用することでより優れた骨折抑制効果が示された。 JOINT-02 では単独、活性型ビタミン D3 薬との併用のいずれでも、痛みや総合的健康度が改善された。	ボラス静注投与するタイプの注射剤。 骨密度上昇効果はリセドロネート (アクトネル) よりも大きいことが認められている。 椎体骨折抑制効果についてはわが国の臨床試験でリセドロネートに劣らない。大腿骨近位部骨折の抑制効果についての RCT はない。 鎮痛薬の使用頻度がアレンドロネートに比して有意に低いことが報告されている。

※ガイドラインでの位置付けは発売時期によって評価が変更になりますので、この評価は今後変わる可能性があります。

<気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～>

薬剤名	問い合わせ内容	結果
ワーファリン	オペ予定でワーファリン服用中であるが、オペ予定のため今後休薬する予定の患者。 グリメピリド 2mg2×を開始した。併用で肝代謝阻害による効果増強が相互に起こることがある。	ワーファリンは5日間休薬すれば、排泄遅延なければ 88%以上消失と考えられるため、休薬期間を当初の予定よりも長めに設定。
トリプタノール	トリプタノール、レボトミン服用中。尿閉や便秘、口渇症状あり。トリプタノール、レボトミンによる副作用の可能性あるため相談。	トリプタノール中止となった。 ※トリプタノールは急な減量で悪心や頭痛など離脱症状がでる可能性あり
アレンドロン酸錠	入院時の聞き取りで減薬希望有り。アレンドロン酸 35mg を3年以上内服している。非定型骨折のリスク上昇データもあり中止を提案。	入院時より中止。

<副作用報告> (県連DI委員会 2月報告より) 副作用検討 4件

No	薬効分類	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	NMDA 受容体拮抗 アルツハイマー型認知症治療剤	メモリー錠 5mg	不穏	2	西協同	可能性あり
2	吸入ステロイド喘息治療剤	オルベスコ 50 μ g インヘラー112 吸入用	口腔カンジダ症	1	西協同	可能性あり
3	ビグアナイド系経口血糖降下剤	メトホルミン塩酸塩錠 250mg	胃部不快感	1	秩父	可能性あり
4	気道粘液調整・粘膜正常化剤	カルボシステイン錠 250mg	便秘	1	秩父	不明

<採用薬変更のお知らせ> (県連薬事委員会 3月報告より)

新規採用					採用削除			
変更理由	メーカー	薬品名	規格	薬価	メーカー	薬品名	規格	薬価
新規採用	大鵬薬品	アブラキサン点滴静注用 100mg		49,103 円				
新規採用	GSK	アノーロエリプタ 30 吸入用		8324.2 円				
新剤形へ変更	GSK	レルベアエリプタ 30 吸入用	100	5,987.2 円	GSK	アドエアディスカス 60 吸入	250	7208.4 円
			200	6,692.6 円			500	8213.2 円
後発医薬品への切り替え	日医工	オルメサルタン OD 錠 10mg/20mg 「日医工」	10mg	20.4 円	第一三共	オルメテック OD 錠	10mg	54.5 円
			20mg	39.0 円			20mg	103.4 円
後発医薬品への切り替え	沢井	ロスバスタチン OD 錠 「サワイ」	2.5mg	21.7 円	アストラゼネカ	クレストール 錠	2.5mg	57.6 円
			5mg	41.4 円			5mg	110.3 円

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院薬剤科 DI室 (内線 9404) までどうぞ
 担当：牧野・玉水・木村・相良 Tel 048-296-9249 Fax 048-296-5719